

第 3 7 回 由利本荘市行政改革推進委員会	
開催日時	令和 7 年 3 月 2 5 日（火）午後 2 時 0 0 分～午後 3 時 0 0 分
開催場所	由利本荘市役所 5 階 第 8 会議室
出席委員（敬称略）	
委 員	水 野 衛（秋田県立大学システム科学技術学部 学部長）
委 員	鈴 木 貴 大（由利本荘市商工会青年部 部長）
委 員	佐々木 奈美子（由利本荘市商工会女性部 大内支部長）
委 員	橋 島 達 也（由利本荘青年会議所 直前理事長）
市出席者及び事務局	
総 務 部 長	高 橋 重 保
総務部行財政改革推進監	小 川 裕 之
総務部行政改革推進課課長	佐 藤 夏 樹
総務部行政改革推進課参事	森 大 樹
総務部行政改革推進課主査	鈴 木 顕
※「1. 開会」から「2. 委員長あいさつ」までは事務局が進行。「3. 案件」以降は委員長が進行。	
1. 開会	
2. 委員長あいさつ	
・水野委員長よりあいさつ	
3. 案件	
（1）第 4 次行政改革大綱実施計画の進捗状況（見込み）について「資料 1」	
・事務局から資料に基づき説明	
【質疑応答】	
（質問）黄桜の里は、東由利の温泉施設を管理しているのか、また、鳥海高原ユースパークはどこを管理しているのか。（解散となったのは）コロナ等でなかなか人が来なかったり、難しいということか。採算が成立する人口や利用者数があつて、その臨界値を下回るようでは設立時の想定どおりにはいかないし、仕方がないということか。その一方で、岩城道の駅は、民間業者が入ってきて一生懸命やっているが。	
（回答）黄桜の里は、温泉とレストランを管理していたが、地域の人口減少や、コロナ禍の影響、7 月の大雨などで資金繰りが悪化したということです。ユースパークについては、矢島のミルジー等一帯を管理しております。	
（質問）黄桜の里もユースパークも岩城や大内のように民間業者が指定管理する話はあるか。	
（回答）指定管理について再公募をかけているが、今は手が上がっていない状況で、直営を含めてどうしていくかを検討中です。ユースパークは、ミルジーの建物はジャージー牛振興を目的としているが、生産農家が 1 軒のみとなり、ジャージー振興は外して普通財産として貸し出し等をできないかを検討中です。	
（質問）資料について、評価の一覧表だけ見ても、そうですかとしか思わない。p 7, 8にあるように、事業をピックアップしての説明がないと意見を出すのは難しい。もう少しやり方を変えてもらいたい。個人的に気になったのは、p 5 の No 3 9 職員の資質向上に向けた人事評価制度の推進だが、これは職員の育成が滞っていて「△」ではなく、評価システムの推進の話しということか。	

(回答) そのとおりです。人事評価制度は平成28度から実施しており、自己評価、上司による評価を行っています。それを反映する部分がまだ完全に出来ていません。例えば、勤勉手当に反映する部分、昇給・昇格に反映する部分等がありますが、そこが完全ではない状態です。

(回答) ご意見については、ある程度選んで見てもらう形でよろしいでしょうか。

(意見) 委員の選定でもよいし、特に見てもらいたいものがあれば、事務局でピックアップする形でもよい。

(回答) 特にうまくいっていないところ、あるいはピックアップする等、よい方法を検討します。

(質問) 人事評価制度はうまくいっているところがあるのか。

(回答) 全国いろいろな都道府県、市町村でやっているが、完璧な例では、最後には分限免職までいくようなところもあります。本市は、手当に反映するところまでは来ております。

(質問) 資料p2の評価一覧について、評価項目が多いと思う。「○」と「△」は何が違うのか。「概ね進んでいる」は「遅れている」と同じではないか。「◎」と「○」、あるいは「○」と「△」を統一した方が資料が見やすくなるのではないか。

(回答) 評価については、今は定性的評価ですが、内部でも、もう少し数字を使った定量的評価を入れた方がよいという話しをしており、次期大綱ではそうしたものを取り入れることを検討中です。

(2) 第5次行政改革大綱の策定スケジュール等について「資料2」

・事務局から資料に基づき説明

【質疑応答】

(質問) 第4次大綱を令和7年度まで延長したが、これは第5次大綱で、令和8年度からのものをこのスケジュールでということか。

(回答) そのとおりです。

(質問) 電気料金の取組は、より安いサービスのものを導入するということか

(回答) そうです。より安いものを（オークションで）選択できるサービスがあるため、活用を検討します。

(質問) パブリックコメントは、実施すると意見は来るものか。

(回答) 第4次大綱ではパブリックコメントを実施していませんでしたが、今回は実施します。

(3) 公共施設等総合管理計画の今後の取組方針について「資料3」

・事務局から資料に基づき説明

【質疑応答】

(質問) 耐用年数については、点検して使用に支障が無ければ問題ないのか。

(回答) 耐用年数は法律で決まっているもので、その年数が来たら直ちに使いえなくなるものではなく、点検して大丈夫であれば使えるし、場合によっては耐震補強や大規模改修しているものもある。

(質問) しかし、これらを何とか廃止する方向に持っていくということか。

(回答) 市長も座談会等でお話しているように、類似の自治体に比べて本市の施設が2～3割多いので、これら維持管理も含めて市の負担が重く、人口減少の中で本当に必要なのか、ある程度まとめていかないと行政サービスが成り立たなくなるため、耐用年数や利用状況をみながらお願いしていく必要があります。

(意見) 由利本荘市は、平成の大合併でまとまった市町村の数が多く、それぞれに持っていた施設があったため、施設が多くなった。これを統廃合で無くすのはなかなか難しいと思うが、耐用年数や利用者数など何らかの基準で優先順位を付けるしかないのではないか。

(質問) 施設の利用状況はどうか。まったく使われていない施設はあるか。

(回答) まったくゼロの施設はなく、比較的、本荘地域の利用は多い。

(質問) 現状、社会人や部活等で使われている施設を、耐用年数で閉鎖していったときに、アリーナ等の新しい施設で賄い切れるのか。

(回答) 耐用年数だけでなく、利用者数などいろいろな指標を使いながら、総合的に判定します。基本的な行政サービスが保てるのかという状況に來ているので、そこを考慮して少し先を見ながら統合を進めないと行き詰ってしまう状況です。

(質問) 資料にブックアップされている施設は、耐用年数が切れ、かつ利用率が少なめのところなのか。

(回答) 補助金を使って建てている施設は、処分年限より前に廃止すると返還が発生するので、それを目安として、あとは利用率等から勘案します。

(意見) 西目のB & Gの施設(体育館)が改修されていて小学生が部活で使えなく、にかほ市でやっているようだった。一箇所使えないだけでそうなるとしたら、廃止するときはバランスを見て慎重にする必要があるし、減らしていかないと維持費も大変なので、いろんなデータを抽出して、徐々に廃止していかなければいけないのかなと思う。

(意見) 一番は利用率ではないか。利用率が低いところから検討していくべき。

(質問) 温泉施設が、公募しても手が上がらないということは、儲けにならないという民間業者の検討の結果だと思うので、そういうものは仕方がないと思う。

(4) 指定管理者制度の更新予定について「資料4」

・事務局から資料に基づき説明

【質疑応答】

(質問) 方針が決められ地域の方にお知らせしたときに、存続の要望等もあるのか。

(回答) 指定管理を終了する施設については、前年度、前々年度に町内会長等にお話しして意見集約したり、地元町内会にお知らせして進めております。

4. その他

5. 閉会